

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 はせがわ

上場取引所 東 福

コード番号 8230 URL <https://corp.hasegawa.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎 徹

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 吉安 大輔 TEL 03-6801-1074

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,196	—	15	—	4	—	△30	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 △89百万円（－％） 2019年3月期第2四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△1.67	—
2019年3月期第2四半期	—	—

（注）当社は、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期の数値及び2020年第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,622	10,120	57.4
2019年3月期	—	—	—

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 10,110百万円 2019年3月期 ー百万円

（注）当社は、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
2020年3月期	—	3.75	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	3.75	7.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,580	—	170	—	120	—	20	—	1.10

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	18,646,376株	2019年3月期	18,646,376株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	507,828株	2019年3月期	513,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	18,134,836株	2019年3月期2Q	18,127,432株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2020年3月期2Q 185,500株、2019年3月期 191,500株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2020年3月期2Q 189,270株、2019年3月期2Q 196,824株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、「食」をテーマとした「手を合わせる心豊かな日本の生活文化」を発信する新たな事業を開始するにあたり、子会社「株式会社田ノ実」を新規設立いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行なっておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策等を背景に緩やかな回復基調が見られるものの、米国における経済政策の不透明感、米国と中国との通商問題の動向、朝鮮半島をめぐる情勢など、国外の政治・経済の不安定さにより、今後の景気動向及び個人消費については依然として予断を許さない状況が続いております。

宗教用具関連業界においては、生活様式や価値観の変化による購入商品の小型化・簡素化、さらにはそれに伴う単価下落の傾向などが継続しております。また、伝統的形式に縛られない「自分らしい」供養のあり方を求める声も増加傾向にあり、多様化するお客様のニーズへの対応が求められております。

当社グループはこのような情勢のなか、TVCMをはじめとする積極的な集客策を実行し、より多くのお客様に当社グループの事業や商品・サービスを広めてまいりました。特に、消費増税を控え、お客様の購買意欲が高まることが見込まれた8月から9月にかけて積極的な販売促進活動を展開し、併せて、全社を挙げた販売体制を構築することで販売機会の最大化を図りました。また、年々成長を続けるEコマース市場への対応として6月3日にアスクル株式会社が運営するショッピングサイト「LOHACO(ロハコ)」に『こころのアトリエ はせがわ』を新規出店いたしました。今後はこれまで以上に店舗網を活かし、リアル店舗とデジタル店舗での顧客接点の増加を目指してまいります。仏壇仏具事業においては、当期より各地域に商品スーパーバイザーの増員を行ない、その地域に適した魅力ある商品の品揃えをより細やかに実現できる体制づくりを目指してまいりました。また、お仏壇の「はせがわLIVING(リビング)コレクション」に加えて、買回り品であるお線香・ローソクのオリジナル商品も開発し、積極的な販売促進も推し進めております。墓石事業においては、TVCMで事業認知度をあげる集客策を実施して、屋内墓苑を含めたご遺骨供養に対する多様なニーズへの対応を目指してまいりました。今後もすべての事業において、商品開発・品揃えの見直しを推し進めてまいります。

店舗政策については、ショッピングセンター内へ2店舗(4月に愛知県知多郡、9月に名古屋市千種区)を新規出店いたしました。今後も引き続きショッピングセンター内への新規出店を推し進めてまいります。

当社グループはこれまで長年取り組んできた「供養」の領域を拡大し、日常の「祈り・願い・感謝」の提案を実行するために、株式会社田ノ実を100%子会社として設立いたしました。株式会社田ノ実は「祈り・願い・感謝」を「食」の視点からとらえ、「手を合わせる心豊かなライフスタイル」の発信を展開してまいります。

このように、各事業において施策を推進した結果、売上高は101億96百万円となりました。

また、営業利益は15百万円、経常利益は4百万円となり、法人税、住民税及び事業税1億38百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、176億22百万円となりました。

流動資産は72億25百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金32億30百万円及び商品27億88百万円でありま

す。固定資産は103億97百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産23億69百万円、営業保証金57億46百万円及び差入保証金12億90百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、75億2百万円となりました。

流動負債は42億9百万円となりました。主な内訳は、買掛金5億55百万円、短期借入金14億60百万円及び未払金7億44百万円であります。

固定負債は32億92百万円となりました。主な内訳は、長期借入金27億45百万円及び資産除去債務2億67百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、101億20百万円となりました。

主な内訳は、資本金40億37百万円、資本剰余金15億83百万円及び利益剰余金46億38百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,230,802
受取手形及び売掛金	960,763
商品	2,788,775
その他	244,896
流動資産合計	7,225,236
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	484,962
造作(純額)	729,757
土地	682,189
リース資産(純額)	87,109
その他(純額)	385,755
有形固定資産合計	2,369,773
無形固定資産	258,433
投資その他の資産	
投資有価証券	400,675
繰延税金資産	348,037
営業保証金	5,746,177
差入保証金	1,290,345
その他	521,744
貸倒引当金	△537,505
投資その他の資産合計	7,769,475
固定資産合計	10,397,683
資産合計	17,622,919

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間
(2019年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	555,085
短期借入金	1,460,000
リース債務	67,760
未払金	744,097
未払法人税等	196,497
賞与引当金	285,000
その他	900,887
流動負債合計	4,209,328
固定負債	
長期借入金	2,745,000
リース債務	148,057
退職給付に係る負債	49,953
役員株式給付引当金	17,555
資産除去債務	267,827
その他	64,525
固定負債合計	3,292,920
負債合計	7,502,248
純資産の部	
株主資本	
資本金	4,037,640
資本剰余金	1,583,350
利益剰余金	4,638,188
自己株式	△196,671
株主資本合計	10,062,506
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	48,064
その他の包括利益累計額合計	48,064
新株予約権	10,100
純資産合計	10,120,671
負債純資産合計	17,622,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,196,741
売上原価	3,690,017
売上総利益	6,506,723
販売費及び一般管理費	
販売促進費	627,927
給料及び賞与手当	2,027,079
賞与引当金繰入額	285,000
退職給付費用	98,914
福利厚生費	556,034
株式報酬費用	4,721
賃借料	589,966
その他	2,301,870
販売費及び一般管理費合計	6,491,514
営業利益	15,209
営業外収益	
受取利息	823
受取配当金	6,582
移動運搬収入	9,871
その他	12,036
営業外収益合計	29,313
営業外費用	
支払利息	10,266
持分法による投資損失	14,992
貸倒引当金繰入額	4,799
固定資産除却損	9,839
その他	274
営業外費用合計	40,172
経常利益	4,350
特別利益	
固定資産売却益	14,081
新株予約権戻入益	33,822
特別利益合計	47,904
特別損失	
投資有価証券評価損	3,387
特別損失合計	3,387
税金等調整前四半期純利益	48,867
法人税、住民税及び事業税	138,084
法人税等調整額	△58,924
法人税等合計	79,159
四半期純損失(△)	△30,292
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,292

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△30,292
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△58,800
その他の包括利益合計	△58,800
四半期包括利益	△89,092
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,092
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	48,867
減価償却費	141,734
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,799
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,309
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,128
受取利息及び受取配当金	△7,405
支払利息	10,266
売上債権の増減額(△は増加)	△108,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,109
仕入債務の増減額(△は減少)	38,568
その他	94,396
小計	94,680
利息及び配当金の受取額	8,211
利息の支払額	△12,697
法人税等の支払額	△11,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△82,330
有形固定資産の売却による収入	25,892
無形固定資産の取得による支出	△49,934
営業保証金の支出	△258,050
営業保証金の回収による収入	440,655
差入保証金の差入による支出	△17,902
差入保証金の回収による収入	10,599
その他	△1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000
長期借入れによる収入	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△730,000
自己株式の取得による支出	△58
リース債務の返済による支出	△37,878
配当金の支払額	△68,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,513,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,659,336
現金及び現金同等物の期首残高	1,515,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,174,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社田ノ実とは新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表の作成に伴い、株式会社はせがわ美術工芸及び株式会社ナイガイトレーディングを持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	仏壇仏具・墓石			屋内 墓苑	飲食・ 食品・ 雑貨	計				
	東日本	西日本	計							
売上高										
外部顧客への売上高	7,344,204	2,046,502	9,390,706	533,174	13,733	9,937,614	259,126	10,196,741	-	10,196,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	551	551	57	609	△609	-
計	7,344,204	2,046,502	9,390,706	533,174	14,284	9,938,166	259,184	10,197,350	△609	10,196,741
セグメント利益又は損失(△)	354,134	73,938	428,073	167,294	△92,099	503,267	△35,491	467,775	△452,566	15,209

(注) 1. 報告セグメントの「仏壇仏具・墓石」及び「飲食・食品・雑貨」は、小売事業であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仏壇仏具卸売事業などであり

ます。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△452,566千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、「食」をテーマとした「手を合わせる心豊かな日本の生活文化」を発信する新たな事業を開始するにあたり、子会社「株式会社田ノ実」を新規設立し、飲食・食品・雑貨事業を開始いたしました。

これに伴い、報告セグメントとして「飲食・食品・雑貨」を新たに追加し、報告セグメントを従来の「仏壇仏具・墓石」及び「屋内墓苑」の2区分から、「飲食・食品・雑貨」を含め3区分に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。